

平成29年度
市民ワークショップ
「しぶかわ まちづくりカフェ」
実施結果報告書



平成29年9月

目 次

I	「しぶかわ まちづくりカフェ」について.....	1
1	開催目的.....	1
2	開催概要.....	1
	(1) 一般ワークショップ.....	1
	(2) 高校生ワークショップ.....	1
	(3) 実施手法.....	1
	(4) その他.....	1
3	参加状況.....	2
	(1) 一般ワークショップ（全2回）.....	2
	(2) 高校生ワークショップ（全1回）.....	2
4	話し合いのテーマ.....	2
5	進め方.....	3
II	まちづくりに対する意見等について.....	4
1	全体概要.....	4
2	まちづくりに対する主な意見等.....	5
	(1) 一般ワークショップ.....	5
	(2) 高校生ワークショップ.....	7
3	各グループの対話内容（模造紙）.....	9
	(1) 一般ワークショップ.....	9
	(2) 高校生ワークショップ.....	10
III	参加者アンケート結果.....	11
1	「しぶかわ まちづくりカフェ」の満足度.....	11
	(1) 一般ワークショップ.....	11
	(2) 高校生ワークショップ.....	11
2	満足度の理由.....	11
	(1) 一般ワークショップ.....	11
	(2) 高校生ワークショップ.....	12
3	「新たな気づきがあった」「自分の意見が変わった」「より考えが深まった」部分.....	12
	(1) 一般ワークショップ.....	12
	(2) 高校生ワークショップ.....	12
4	「しぶかわ まちづくりカフェ」について.....	13
	(1) 一般ワークショップ.....	13
	(2) 高校生ワークショップ.....	13

1 開催目的

市民ワークショップ「しぶかわ まちづくりカフェ」は、本市に対する評価や意向等を把握し、まちづくりの指針である総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とすることを目的として開催しました。

2 開催概要

(1) 一般ワークショップ

市民意識調査の対象者や公募の市民を対象として、渋川市子育て支援総合センター（旧渋川総合病院）にて計2回開催しました。

(2) 高校生ワークショップ

市内4つの高等学校（渋川高等学校、渋川女子高等学校、渋川青翠高等学校、渋川工業高等学校）に通う第2学年の生徒を対象として、渋川女子高等学校にて開催しました。

(3) 実施手法

「ワールドカフェ」の手法により実施しました。「ワールドカフェ」とは、リラックスした雰囲気の中、参加者を小人数のグループに分け、度々メンバーを交換することにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

(4) その他

リラックスした雰囲気づくりのため、数種類の飲み物や茶菓子をを用意しました。また、一般ワークショップにおいては、幅広い市民の参加を促すため、会場内に無料の託児サービスを用意しました。



飲み物・茶菓子
(一般ワークショップ)



茶菓子
(高校生ワークショップ)



託児サービス
(一般ワークショップ)

3 参加状況

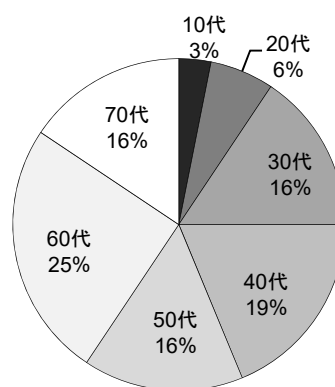
(1) 一般ワークショップ (全2回)

① 日程・会場・参加者数

開催回	日程	会場	参加者数 (人)
第1回	7月8日(土) 10:00~12:00	渋川市子育て支援	16
第2回	7月9日(日) 10:00~12:00	総合センター	16
合計			32

② 参加者の年代構成

年代	参加者数 (人)
10代	1
20代	2
30代	5
40代	6
50代	5
60代	8
70代	5
合計	32



(2) 高校生ワークショップ (全1回)

① 日程・会場・参加者数

日程	会場	参加者数 (人)
7月31日(月) 9:30~11:30	渋川女子高等学校	47

② 参加者の構成

学校	参加者数 (人)
渋川高等学校	12
渋川女子高等学校	12
渋川青翠高等学校	11
渋川工業高等学校	12
合計	47

4 話し合いのテーマ

区分	テーマ
一般ワークショップ	渋川市をどのようなまちにしたいですか？
高校生ワークショップ	

5 進め方

第1ラウンド テーマについて探求する

【約10分】

参加者は、4人ずつテーブルに分かれて、市職員から当日の進め方などについて説明を受けます。

説明が終了したら、自己紹介、共通点探し（アイスブレイク）の後、テーマについて意見を出し合います。



第2ラウンド アイデアを他家受粉する

【約10分】

各テーブルに1名（ホスト）を残して、他の参加者は別々のテーブルに移動します。

新しいテーブルで自己紹介の後、前ラウンドで話し合った内容を紹介し、さらに意見の出し合いを続けます。



第3ラウンド 気づきや発見を統合する

【約10分】

ホストを残して、他の参加者は第1ラウンドのテーブルに戻ります。

第2ラウンドで話し合った内容を紹介し、さらに意見の出し合いを続けます。



第4ラウンド 集合的な発見を収穫・共有する

【約20分】

各テーブルに配置した市職員が、話し合った内容を発表し、参加者全体で共有します。



最後に、全体を通しての意見を付箋に書き出し、パネルに貼り付けます。他の参加者の意見を見ることで、改めて参加者全員で意見等を共有します。



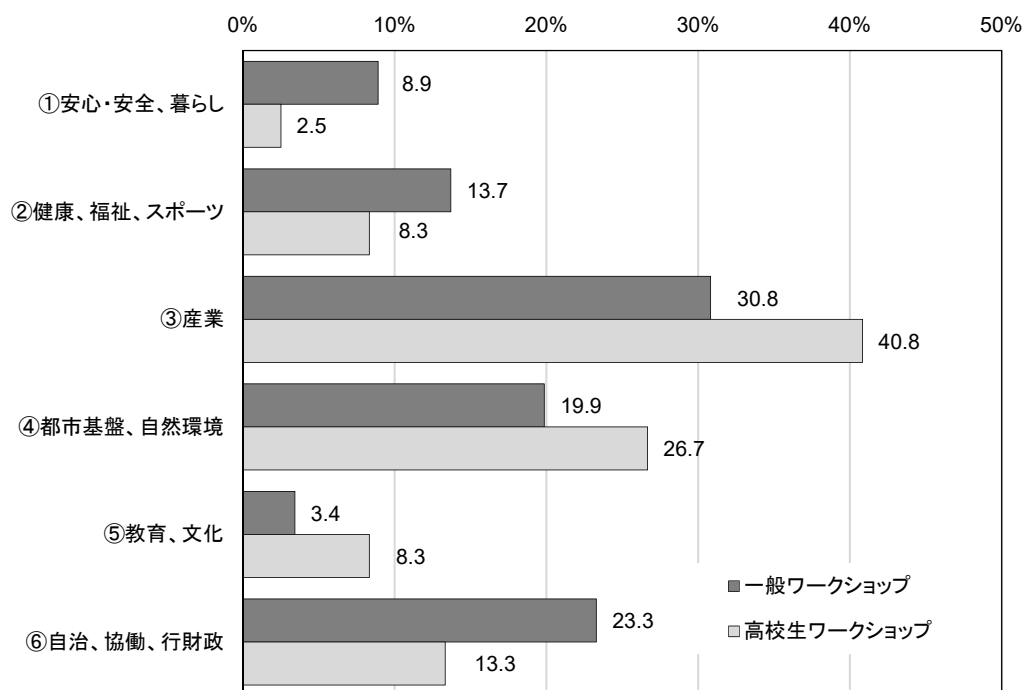
Ⅱ

まちづくりに対する意見等について

1 全体概要

「しぶかわ まちづくりカフェ」にて出されたまちづくりに対する意見等は、一般ワークショップ 146 件、高校生ワークショップ 120 件でした。これを現在策定中の総合計画の 6 つの施策大綱別にまとめると、意見数の割合は以下のとおりとなりました。

これを見ると、一般ワークショップ、高校生ワークショップのいずれも③産業分野に関する意見が最も多く見られました。



2 まちづくりに対する主な意見等

「しぶかわ まちづくりカフェ」にて出たまちづくりに対する主な意見等をキーワードごとに整理しました。

(1) 一般ワークショップ

【定住環境について】

- ・転入者に優しいまちにしたい。
- ・車が無くても衣食住に困らないまちにしたい。
- ・住んで良かった、住みたいと思えるまちづくり。
- ・ずっと長く住みたいまちを目指してほしい。

【子育てについて】

- ・子どもの遊ぶ場所の情報が少なく、どこに行ったら良いか分からない。
- ・子育て中の人満足できるサポートをできるまちにしたい。
- ・学童に土日預けられないので不便。

【福祉について】

- ・障害者や高齢者に優しいまちにすることで、万人に優しいまちにしたい。
- ・お年寄りのお悩み相談所を設置してほしい。

【農業の振興について】

- ・農業の盛んな地域について、積極的に市外へ発信する。
- ・しぶせんなど、農業の活性化。
- ・しぶせん野菜の宣伝を市内住民や県外の人にネットやふるさと納税景品でPRする。
- ・農学部の実習農場などに市内の農地を活用する。

【商工業の振興について】

- ・商店街を元気にしてほしい。
- ・空き店舗が利活用されるまちにしたい。
- ・市内に大きなデパートがあると良い。
- ・企業誘致をしてほしい。

【観光の振興・プロモーションについて】

- ・伊香保温泉を活用し、伊香保地区に来た客に他の地区へ観光に寄ってもらう。
- ・渋川市には活用できていない観光資源が多い。
- ・観光スポットや名産などもっと情報を発信してほしい。

【就労・雇用について】

- ・若者たちの働き先をつくってほしい。
- ・渋川の高校に通っていた人が、県外の大学に行き、渋川には仕事がないため帰ってこない。
- ・男性の育休が少ない。
- ・ママ友と起業するための支援をしてほしい。

【公共交通について】

- ・買物や病院に行くのに車を使わなくても行けるように、公共のバスを充実させてほしい。
- ・バスに乗らないと、本数が少なくなるので、バスに乗るようにする。
- ・子どもにもバスに乗ることを経験させる。
- ・JR 湘南新宿ラインを渋川駅まで乗り入れしてほしい。

【駅周辺の活性化について】

- ・駅前がにぎやかなまちにしたい。
- ・渋川には駅がたくさんあるのにうまく活用されていない。もっと駅と駅がつながるまちにしたい。
- ・駅近くに寄りたくなるよう開発してほしい。

【公園について】

- ・公園が少ないので、もっと子ども同士が公園で遊べるまちにしたい。
- ・歩いて行けるところに公園や図書館がほしい。
- ・公園はあるが、総合的に何でもそろっている公園は少ない。もっと子どもが楽しめる公園のあるまちにしたい。
- ・成人の森で音楽フェスなど、総合公園の活用方法を考える。

【市民と行政の協働について】

- ・人材を繋げるものがないので、それができる仕組みをつくりたい。
- ・自分でできることから始めることが大切だと思う。
- ・渋川のために頑張っている民間のボランティア団体を市として応援、協力してほしい。
- ・しぶかわまちづくりカフェを各地域へ出前カフェとして継続していく。

【情報の発信・共有について】

- ・もっと情報がデジタル化されているまちにしたい。
- ・情報発信の工夫。
- ・市の良いところを PR する。

【合併について】

- ・合併して 10 年、もっと一体感のあるまちにしたい。
- ・各地区の格差をなくしたい。



(2) 高校生ワークショップ

【定住環境について】

- ・古い建物などに色を塗り、景観を変える。
- ・生活しやすいまちにしたい。

【子育てについて】

- ・保育士を育成する。
- ・児童保育所を増やす。
- ・子どもの非行防止対策をしてほしい。

【福祉について】

- ・渋川医療センター、群馬パース専門学校などをいかし、医療の充実したまちとして取り組む。

【スポーツ・健康づくりについて】

- ・ボーリングなどの運動施設がほしい。
- ・スポーツなど体を動かすことができる施設をつくる。
- ・アスレチックや公園など運動ができる場所を増やす。

【商工業の振興について】

- ・ショッピングモール・アミューズメント施設の設置。
- ・カラオケなど、駅前に遊べるところがほしい。
- ・お店を増やしたり、イベントを増やす。
- ・新しい名物をつくってほしい。

【観光の振興・プロモーションについて】

- ・市内の高校主催の祭りをを行い、そこで特産品を販売する。
- ・文化祭の場を利用して市の特産品を作る。
- ・もっとなじみやすいゆるキャラをつくり、様々な場所でアピールをする。
- ・廃墟や廃校をいかす。
- ・伊香保温泉以外にも自然の豊かさを PR する動画を制作する。
- ・スカイランドパークやグリーン牧場などの観光地を PR する。

【就労・雇用について】

- ・市内に就職先を増やしてほしい。

【公共交通について】

- ・中心地に大型施設がなく、移動が必要なのに公共交通機関が発達していない。
- ・土曜補習や部活など学校行事が終了する時間に合わせて、バスや電車の時間を変更する。
- ・バスや電車の本数を多くする。
- ・公共交通機関の料金を安くする。

【道路について】

- ・学校周辺の道路を整備してほしい。
- ・狭くてボコボコした道路が多いので整備してほしい。
- ・大正橋前の信号がいつも混んでいるので解消してほしい。

【駅周辺の活性化について】

- ・駅周辺にお店がほしい。
- ・廃車になった電車をシンボルとして駅前に展示する。

【公園について】

- ・公園や遊び場など、憩いの場を増やす。
- ・自然公園を造る。

【「すたでいばんく」について】

- ・テスト期間中にすたでいばんくを増設してほしい。
- ・すたでいばんくに退職した教員などをボランティアとして配置してほしい。
- ・すたでいばんくの席数を増やして、勉強しやすい環境を整備する。

【市民と行政の協働について】

- ・駅前に応募用紙をおいて市民の意見を募る。
- ・学生代表を選抜し、市の会議に出席させてほしい。
- ・学生主体で市を盛り上げる。
- ・高校生主体のボランティア活動。

【情報の発信・共有について】

- ・SNS*により渋川の情報を発信する。
- ・市の活動をもっと改善してほしい。

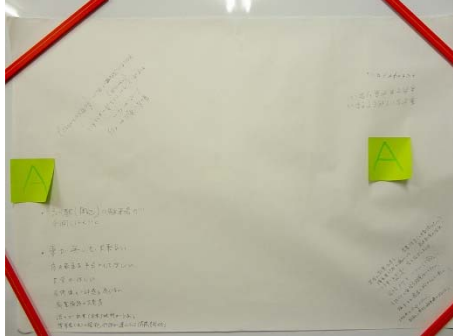

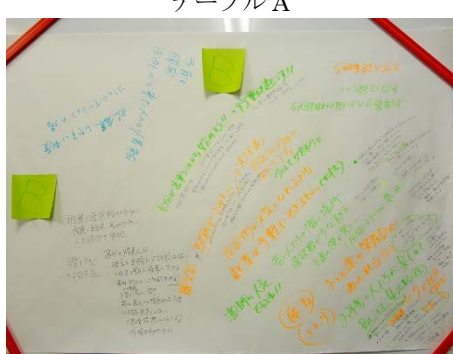
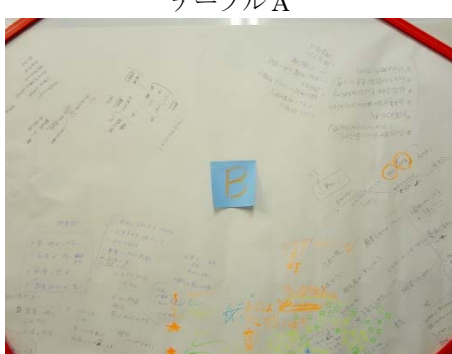
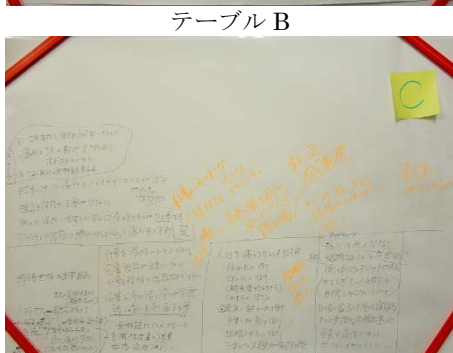
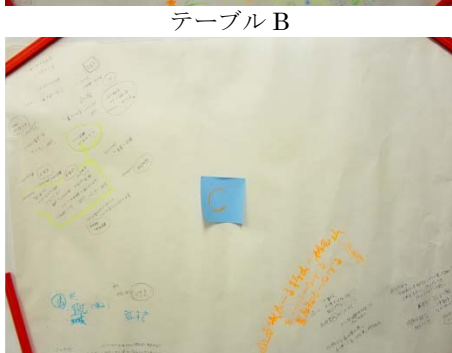
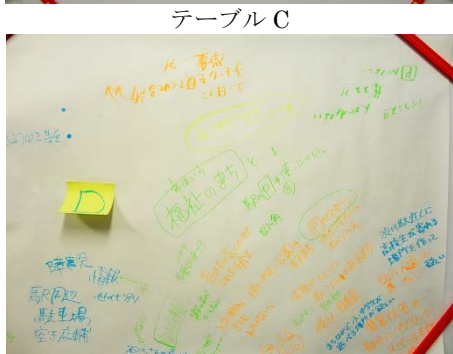
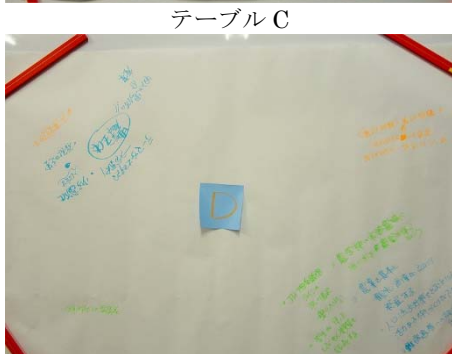
※SNS (Social Networking Service) : フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど、インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービスのこと。




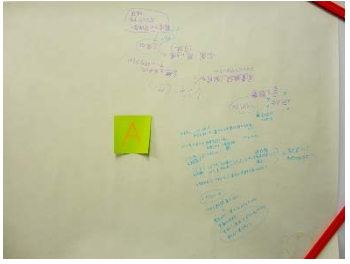


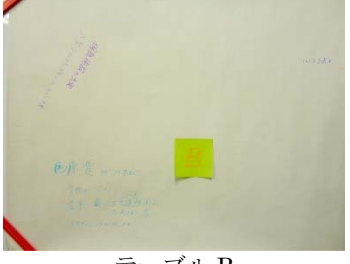


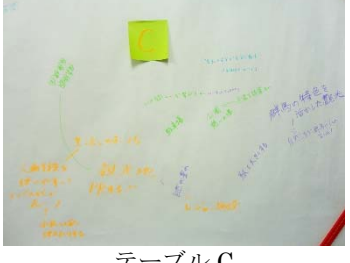

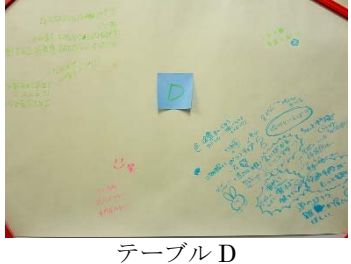


3 各グループの対話内容（模造紙）

「しぶかわ まちづくりカフェ」では、参加者が発言したことや思ったことなどを模造紙に書きながら対話を進めました。

(1) 一般ワークショップ

第1回（7月8日）	第2回（7月9日）
 <p>テーブル A</p>	 <p>テーブル A</p>
 <p>テーブル B</p>	 <p>テーブル B</p>
 <p>テーブル C</p>	 <p>テーブル C</p>
 <p>テーブル D</p>	 <p>テーブル D</p>

(2) 高校生ワークショップ

第1組	第2組	第3組
		
テーブル A	テーブル A	テーブル A
		
テーブル B	テーブル B	テーブル B
		
テーブル C	テーブル C	テーブル C
		
テーブル D	テーブル D	テーブル D

Ⅲ

参加者アンケート結果

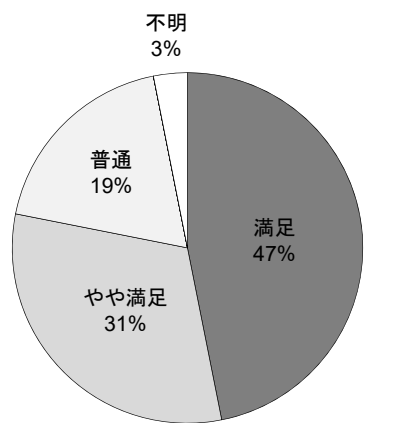
参加者に対して、終了後にアンケート調査を実施しました。「しぶかわ まちづくりカフェ」の満足度結果や主な自由記述の内容を以下に示します。

なお、原則として原文のまま記載します。

1 「しぶかわ まちづくりカフェ」の満足度

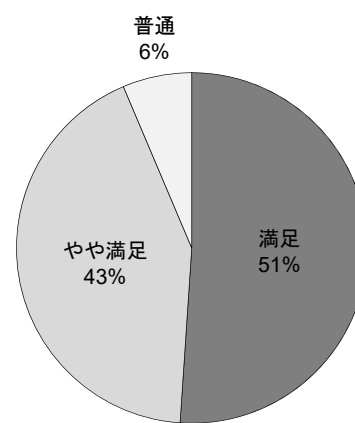
(1) 一般、(2) 高校生のいずれも「満足」(一般 47%、高校生 51%) が最も高く、次いで高い「やや満足」と合わせた『満足』が一般 78%、高校生 94%となっています。

(1) 一般ワークショップ



回答者n=32人

(2) 高校生ワークショップ



回答者n=47人

2 満足度の理由

(1) 一般ワークショップ

【満足】

- ・ 普段知らないことを色々と聞くことができました。
- ・ 様々な年代、地域の方とお話できました。
- ・ 参加する前には想像できないほどの収穫を得ることができました。スタッフの方々の運営もすばらしく、カフェのような空間でした。

【やや満足】

- ・ 日頃お会いする機会のない方たちとお話ができ刺激になりました。時間がもう少しあると良かったです (話し込む時間)。
- ・ 1 ラウンドの時間が少し短いと思いました。各テーブルのコミュニケーションの差を感じました。

【普通】

- ・ こういった場所 (会議) は経験がないので当初は少々戸惑いました。
- ・ すこし愚痴が多かったかなと思う。建設的意見を出せるよう考えていきたい。ただし、それが取り上げられる雰囲気には渋川は欠けている。

(2) 高校生ワークショップ

【満足】

- ・ 渋川市について他の高校生と話し合っとても楽しかったし、少しでも貢献できたことがとても嬉しいことです。
- ・ 今まで渋川についてあまり考える機会がなかったが、面白い考えがたくさんあって興味が湧いた。
- ・ 自分では気付かなかったことに気付けた。

【やや満足】

- ・ 他の学校の人との意見交換をすることにより、他の人がどのように考えているのかがよく分かった。
- ・ 他の学校から意見を聞いたり、自分が思っていなかった意見が出たのでおもしろかったです。

【普通】

- ・ テーマの種類がもう少しあると話の幅が広がると思う。

3 「新たな気づきがあった」「自分の意見が変わった」「より考えが深まった」部分

(1) 一般ワークショップ

- ・ 皆さんそれぞれの立場で渋川市の未来を真剣に考えていることが分かりました。日々、市の魅力や必要な事を思いながら、個人として発信できたら良いと思いました。
- ・ 「しぶせん」について初めて知りました。皆それぞれ地域について意見や問題点を考えていらっしやると気付かされました。
- ・ 「考えていたことが自分だけではないんだ」と思えて良かった。話し合うことで希望が少し見えてきたような気がした。出たたくさんの意見を無駄にしないよう行政にいかしてほしい。
- ・ 自分は子育ての経験がないため、障害のあるお子様をお持ちのお母様の実情を聞くことができて良かった。
- ・ もっと渋川の観光地をいかしたり、他の人に向けてのアピールの発信をしていきたい。

(2) 高校生ワークショップ

- ・ 自分たちの世代がどういうものを欲しているのかが分かった。自分とは違う不満や男女での考えの違いなどが分かった。
- ・ 渋川市に足りないもの、十分に足りているものが何なのか、分かることができた。
- ・ 交通機関は、自分的には不自由ではなかったけど、他の人の意見を聞いて考えたら不自由だと気づきました。
- ・ 駅前の発展を望む声が多かったことに気付いた。高校生ボランティアで何か名物をつくる考えは、自分だけだったら思い浮かばなかった。
- ・ 渋川市の色が地味っていうのは本当だなと思った。

4 「しぶかわ まちづくりカフェ」について

(1) 一般ワークショップ

- ・自由に自分の意見を話すことができました。とても良い勉強になりました。
- ・いろいろな機会で開催してほしい。
- ・世代や地域を越えてその人の考えを聞くことができている。この活動が今後渋川市を良くしていくと思う。
- ・こういった企画を継続的に実施していただきたいです。例えば出前カフェとして。
- ・もう1・2回席を移動して他のグループに入ってお話を聞きたかったです。もっと幅広い年代、職業の方（高校生や会社員男性）が積極的に参加できたらと思います。
- ・いろいろな意見が出すぎて脱線する場面が多くなってしまったと思います。内容をしぼって話し合ったほうが良いと思います。

(2) 高校生ワークショップ

- ・毎年したほうが良いと思う。高校生の意見をもっと取り入れたほうが良いと思う。
- ・渋川市を活性化していくにはとても良いと思った。なので、このような企画を定期的に行ってほしい。
- ・今回参加して、ちゃんと話し合えるかという不安を抱いていましたが、実際に行って、お菓子や飲料などもあり、他校の方とも話し合える機会もできて、とても楽しくすることができました。
- ・最初はとても緊張しましたが、とても楽しかったです。来て良かったと思います。
- ・市内の高校生が話し合うという場面はあまりないので、今回行って良かった。またやってみたいと思った。
- ・最初は緊張していたが、思いのほか打ち解けて話せた。高校生だけでは若者向けの意見しか出ないが、他の世代と一緒にいることでより良い意見が出ると思う。